

# 保護者の皆さまへ 寝屋川支援校長室だより

令和2年6月26日 No.6  
大阪府立寝屋川支援学校  
校長 福井 浩平  
准校長 阪本 友輝

登校が始まり、約1か月が経とうとしています。日々の検温等、コロナ対策にご協力いただき、本当にありがとうございます。梅雨に入り、暑さに加え、湿度も高いことから熱中症への対策も必要な時期に入ってきました。

今号では、マスクの着用と熱中症対策についてお知らせします。また、授業等の様子をお伝えします。

## 1 マスクの着用と熱中症対策について

6月16日に、文部科学省から以下の通知が届きました。本校もこれに沿って、指導・支援を行っていきます。

### (3) 「密接」の場面への対応（マスクの着用）

#### ① マスクの着用について

学校教育活動においては、近距離での会話や発声等が必要な場面も生じることから、飛沫を飛ばさないよう、児童生徒等及び教職員は、基本的には常時マスクを着用することが望ましいと考えられます。ただし、次の場合には、マスクを着用する必要はありません。

1) 十分な身体的距離が確保できる場合は、マスクの着用は必要ありません。

2) 熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外してください。

※夏期の気温・湿度が高い中でマスクを着用すると、熱中症のリスクが高くなるおそれがあります。マスクを外す場合には、できるだけ身体的距離を保つ、近距離での会話を控えるようにするなどの配慮をすることが望ましいですが、熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先させてください。

※マスクの取り外しについては、活動の態様や児童生徒等の様子なども踏まえ、現場で臨機応変に対応することが重要です。

※児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導します。

3) 体育の授業においては、マスクの着用は必要ありません。

(文部科学省『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』P31より抜粋。太字・下線は原文のまま。)

以上のように、体育の授業等では、熱中症対策として、マスクを着用しないこととします。身体的距離を取りながらの活動、活動後の手洗い等を心がけますので、ご理解いただきますよう、お願いいたします。なお、感染が心配であるなど、マスクの常時着用を希望する場合は、担任へご相談ください。

(裏面につづく)

## 2 ～授業等の様子～

### (1) 小学部「耳鼻科検診に向けて」

教員がお医者さん役になり、検診の練習をしました。教員の指示に沿って、耳や鼻をお医者さん役の教員のほうに向けたり、大きな口を開けたりすることができていました。「上手にできました！」とほめられ、ニコニコする姿も見られました。このように、体験的な内容を大切にする授業を行っています。



### (2) 小学部「ZOOMを使ったお誕生日会」

密な状態を避けるため、3つの教室に分かれてお誕生日会を行いました。お祝いしてもらおう児童が、名前をマイクに向かって言うと、別室の児童からは、お祝いの拍手が沸き起こり、拍手の映像と音声、誕生月の児童に届けられました。このように、コロナ対策をふまえた形で授業を進めています。



### (3) 高等部「前期生徒会役員選挙 立会演説会（リモート）」

密を避けるために、あらかじめ撮影しておいた動画を見て、投票を行いました。

各教室で見る学年、特別教室で複数回に分かれて見る学年と、それぞれの学年の選挙管理委員の生徒が中心となり工夫して進め、ホールや廊下に設置した投票箱に、一方通行で投票しました。

立候補者全員が信任されましたので、役員の方々の皆さんを中心に高等部を盛り上げてほしいと思います。



今後も折に触れて、授業等の様子をお伝えしていきます。次号では中学部の様子をお伝えする予定です。